



## (1) 保存地区の概要

|           |                                                                                                                                                                                                 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地 区 名     | 佐渡市宿根木                                                                                                                                                                                          |
| 種 別       | 港町                                                                                                                                                                                              |
| 面 積       | 約28.5ヘクタール                                                                                                                                                                                      |
| 選 定 年 月 日 | 平成3年4月30日                                                                                                                                                                                       |
| 特 徴       | <p>佐渡市宿根木伝統的建造物群保存地区は、佐渡島小木岬南端近くに位置し、江戸時代に北前船稼業で繁栄した小さな港町である。</p> <p>集落は、約1haの狭い谷内に主屋、納屋、土蔵など200棟ほどが軒を連ねる。外観の簡素さと内部の漆塗りの華やかな空間との対比が特徴的である。伝統的な建造物群が高度な都市的空間を構成し、周囲の自然環境とともに優れた歴史的風致を形成している。</p> |

## (2) 保存地区のあゆみ

|              |                                                                                  |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和43年度(1968) | 民俗学者の宮本常一氏らにより、集落調査が盛んに行われる                                                      |
| 昭和47年度(1972) | 閉校した宿根木小学校校舎を利用した「佐渡国小木民俗博物館」が開館                                                 |
| 昭和55年度(1980) | 保存対策調査を実施(東京大学 稲垣栄三研究室)                                                          |
| 平成2年度(1990)  | 保存会発足、宿根木住民憲章を制定<br>公開民家「清九郎」、「金子屋」が復原される                                        |
| 平成3年度(1991)  | 『重要伝統的建造物群保存地区』に選定                                                               |
| 平成6年度(1994)  | 宿根木体験学習館竣工                                                                       |
| 平成9年度(1997)  | 防災計画を策定                                                                          |
| 平成10年度(1998) | 実物大の千石船「白山丸」が復原される                                                               |
| 平成16年度(2004) | 市町村合併により小木町から佐渡市となる                                                              |
| 平成21年度(2009) | 新潟県まちなみネットワーク佐渡大会を開催                                                             |
| 平成23年度(2011) | 平成16年度から活動を継続する地元中学校の「宿根木観光ボランティア部」が都市景観大賞(景観教育・普及啓発部門)を受賞する<br>選定20年記念シンポジウムを開催 |
| 平成24年度(2012) | 公開民家「三角家」が一般公開される                                                                |
| 平成26年度(2014) | JR東日本のCMで宿根木が紹介される<br>集落入口にまちなみ観光案内所を設置                                          |
| 平成27年度(2015) | 宿根木公会堂の耐震補強改修工事が竣工                                                               |
| 平成28年度(2016) | 県道改修工事(歩道整備及び案内サイン設置)<br>宿根木たらい舟(はんぎり)体験開始                                       |
| 平成29年度(2017) | 日本遺産『荒海を越えた男達の夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～』構成文化財の一部として宿根木の建造物や無形民俗等が認定を受ける              |
| 令和4年度(2022)  | 一般社団法人「宿根木を愛する会」発足                                                               |



位置図



保存地区図



保存地区(拡大図)

## (3) 保存地区の保存と整備

### ■修理経過(1991～2025)

34年間で123棟の保存修理・修景事業を実施

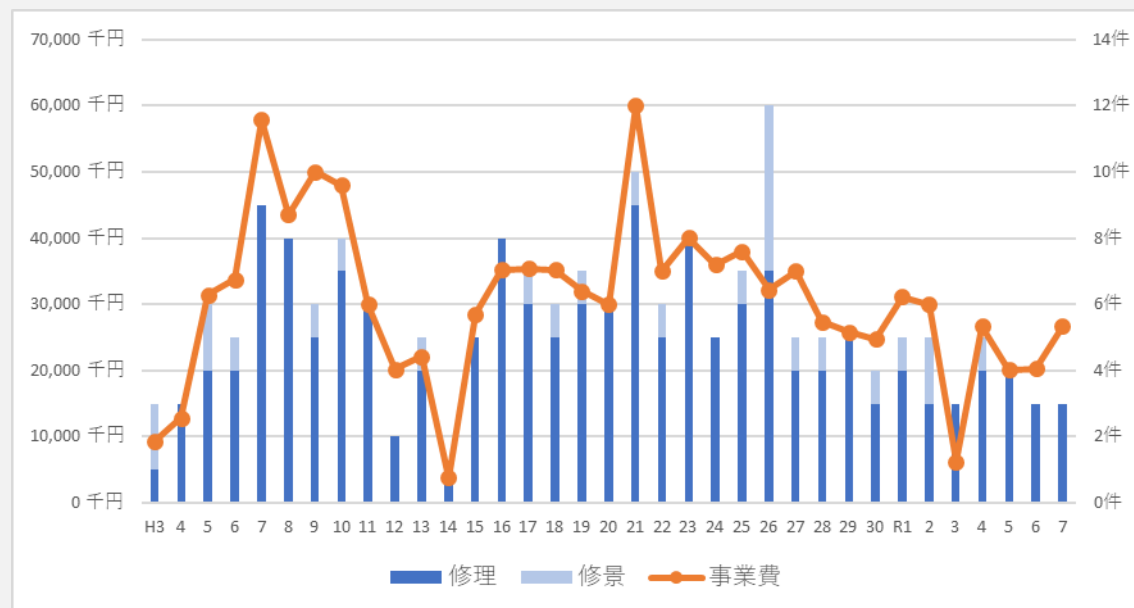
これまでの修理数……102件

これまでの修景数…… 21件

伝統的建造物の約8割が修理され、歴史的な風致が向上している。

### ■主な事業

- |        |                                   |
|--------|-----------------------------------|
| 令和 2年度 | 修理事業3件<br>修景事業2件<br>防災事業2件(法面保護他) |
| 令和 3年度 | 修理事業1件<br>防災事業1件(法面保護)            |
| 令和 4年度 | 修理事業2件<br>修景事業1件<br>防災事業1件(法面保護)  |
| 令和 5年度 | 修理事業4件<br>防災事業1件(法面保護)            |
| 令和 6年度 | 修理事業3件<br>防災事業1件(法面保護)            |
| 令和 7年度 | 修理事業2件<br>防災事業1件(法面保護)            |



### ■向上する歴史的風致



修理事業



修景事業



防災事業

## (4)保存地区の活用とまちづくり

### その1 伝統的建造物の活用とまちづくり

重要伝統的建造物群保存地区選定以後、見学等が可能な公開施設等が増加した。平成24年には、公開民家4棟(清九郎・金子屋・三角家・博物館)の共通入館券を発行し、見学者の利便性向上に努めている。歴史的な町並みを創出する宿根木を訪れる観光客は、新型コロナウイルス感染拡大で一時減少したが、現在は増加の傾向にあり、安定した集落維持が続けられている。

一方で、伝建選定時と比較し、人口は172人から75人と半減しており、積極的な移住者受け入れなどを行っているものの、今後集落維持が困難になることが予測される。

### ■活用意識の変化

|      | 集落世帯 | 営業店舗 | 宿泊施設 | 公開家屋 |
|------|------|------|------|------|
| 平成2年 | 50   | 4    | 4    | 1    |
| 令和7年 | 36   | 7    | 6    | 6    |
| 年比   | -14  | +3   | +2   | +5   |



佐渡国小木民俗博物館  
昭和47年開館



公開民家「清九郎」  
平成3年公開



公開民家「金子屋」  
平成3年公開



公開民家「三角家」  
平成24年公開



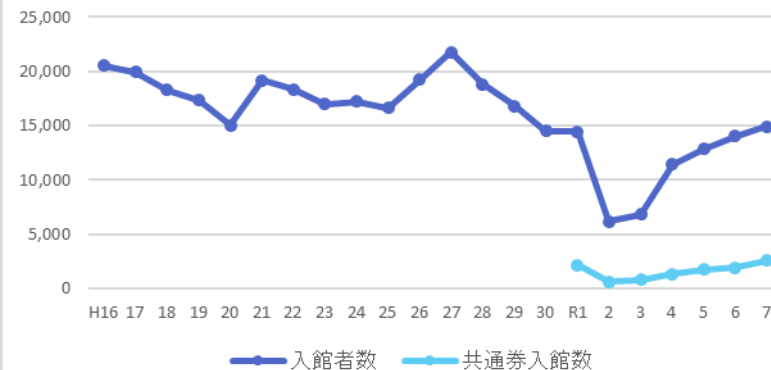
中島土蔵  
平成24年公開



宿根木公会堂  
平成27年公開

### ■賑わいの創出

佐渡国小木民俗博物館入館者数及び共通券入館者数



公開民家「清九郎」



7月開催の「白山丸祭り」



宿根木「はんぎり」



## その2 歴史を活かした取り組み

平成22年 世界文化遺産暫定候補への記載

平成23年 世界農業遺産(ジ阿斯)の認定

平成25年 日本ジオパークの認定

佐渡市では、豊かな大地の遺産、トキや天然杉などの恵まれた自然、人々が育んだ伝統文化を島の宝と捉え、これらの保護に取り組んでいる。

平成29年5月には日本遺産「荒海を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の認定を新たに受け、宿根木のほか、寄港地である佐渡市小木町の歴史遺産(鎮守である木崎神社、湊を描いた絵図、船乗りが奉納した船絵馬等)を含め、千石船で繁栄した往時の歴史的景観の保全に努めている。



地元中学生による観光ガイド



住民による観光ガイド



地質を学ぶジオパークガイド



住民による青年芝居



地区を守る放水訓練



住民による木羽へぎ作業



千石船の面影を辿る「千石船の里探訪マップ」

## (5) 住民等の取組

### ●「集落ガイド」

集落では、増加する観光客の受入対策として、平成26年度に観光案内所を設置した。地元住民による案内ガイドのほか、ジオパークガイドや地元中学生による観光ガイドなど、多様な主体により気持ちよく集落を訪れていただくための「おもてなし」が行われている。

### ●地域住民の声

・重伝建地区に選定されなければ、今のように集落を維持していくことはできなかった気がしている。コツコツと小さな取り組みを続けてきたことが、結果として今の成果に繋がっている。先人たちが築き上げた歴史を守り、後世に引き継ぐ役目を担いたい。(保存会会長)

・集落では石置屋根の復原に取り組んでおり、材料の一つ一つは住民の手によって作られている。これからも、ものづくりへの想いを絶やさずにいたい。世代の垣根を越えて、親戚のように接する人間関係を築きながら、集落で過ごす日々を楽しみたい。(宿根木こば屋代表)